

小学部1・2年 生活単元学習 学習指導案

日時 令和6年12月12日(木) 10:30~11:15  
 場所 小学部プレイルーム、中庭 児童数4名  
 授業者 大田若奈(T1) 大高聡美(T2)

1 単元名 きせつとあそぼう ~ふゆ~

2 単元の概要

児童は自然の中での活動を好み、興味をもっていることから、「きせつとあそぼう」をテーマに、年間を通して、季節の遊びや制作に取り組んできた。本単元では、冬の植物、虫を探したり、冬の食べ物や行事、遊びについて調べたりする。冬の遊び「凧あげ」では、様々な凧を作って遊び、冬の気候の特徴や風の力によって物が動くことについて学ぶ。また、折り紙やセロテープなどの身近な材料や用具を使って凧を作り、制作の楽しさを味わいながら用具の使い方や表現の仕方を学ぶ。

3 単元の計画

(1) 単元の目標 (本単元で扱う主たる各教科の内容のまとめ)

教科・段階		知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
生活1 (2名)	生命・自然	身近な自然の中で遊びながら自然の事物や事象に触れ、生き物などに興味・関心をもつ。	身の回りにある自然の事物や事象に気付き、教師と一緒に他者に伝える。	身近な公園や川、野山、海などの自然に触れ、知ろうとする。
		晴れや雨などの天候の変化や四季のおおまかな特徴などに気付く。	天候の変化や四季の特徴に気付き、教師と一緒に他者に伝える。	天気や空の様子に触れ、知ろうとする。
生活2 (2名)	生命・自然	植物や身近な動物に興味や関心を持ち、実際に栽培や飼育を行い、その成長や変化に気付く。	植物や動物の成長や変化などを記録し、気付いたことを他者に伝える。	植物や動物の世話をしながら、成長や変化を知ろうとする。
		天候の変化や、太陽、月、星などと昼夜の関わりや、気温の違いなどの季節のおおまかな特徴を知る。	天候の変化や四季の特徴を調べ、気付いたことを教師と一緒に他者に伝える。	天候の変化や四季の特徴などに関心を持ち、知ろうとする。
生活1 (4名)	ものの仕組みと働き	風やゴムの力によって物が動く様子に関心をもつ。	風やゴムの力によって物が動くことに気付き、教師と一緒に他者に伝える。	風やゴムの力で物が動くことについて知ろうとする。
図工1 (2名)	表現	かく遊びやつくる遊びを通して、身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどすることができる。	材料などから、表したいことを思い付き、線や絵をかくなどして表現しようとする。	かく、切る、ぬる、はるなどの活動に自ら取り組む。
図工2 (2名)		絵画や造形遊びを通して、身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくらったりできる。	材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを思い付き、表現する。	身近な材料や用具に関心を持ち、自らかいたり、形をつくらったりする喜びを感じる。

(2) 個別の手立て (配慮事項・支援内容)

児童名	段階	配慮事項・支援内容
A (1年)	1	・冬の特徴「寒い」「風が強い」ことに気付き、風の強さに関心をもつことができるように、気温や風をカードで示す。また、外に吹き流しを設置する。 ・表したいことをイメージして自分から表現できるように、実際に見た植物や虫、食べ物などを選択肢として示す。
B (1年)	1	・風で物が動くことに気付くように、操作しやすい凧を準備する。風に気付く行動が見られた際には「風で動いたね」などと言葉掛けをし、気付きを促す。 ・色や形に気付いて表現しようとするができるように、色や形の変化が分かりやすい材料や活動を設定する。

C (2年)	1、2	・冬の特徴「寒い」「風が強い」や、風と物の動きの関係に気付くことができるように、風の強さを視覚的に示したり、「凧があがったのはどうしてかな」などと問い掛けたりする。 ・凧を作ることができるように、見本を準備する。また、描きたいものの特徴を意識できるように、色や形を問い掛けたり、見本を提示したりする。
D (2年)	1、2	・冬の特徴「寒い」「風が強い」や、風と物の動きの関係に気付くことができるように、気温や風の強さを視覚的に示したり、「凧があがったのはどうしてかな」などと問い掛けたりする。 ・凧を作ることができるように、見本を準備する。また、描きたいもののイメージを膨らませられるように、選択肢を示す。

(3) 指導計画 (総時数 42 時間)

小単元名・学習活動		時数	小単元で扱う各教科等と指導内容
第一次	「ふゆをさがそう」 ・冬の植物、虫探し	6 (2)	生活1 (生命・自然) ・自然の事物や事象に触れる ・身近に生息する小動物や草花 ・四季の特徴や天候の移り変わりに気付く 生活2 (生命・自然) ・自然が姿を変えることが分かる ・動物の動きに興味をもつ ・生き物への関心をもつ ・天候の変化に関心をもつ ・冬は寒いなどの季節の特徴に関心をもつ
	・冬の食べ物や行事調べ、体験	(2)	
	・冬の遊び調べ、体験	(2)	
第二次	「ふゆとあそぼう」 ・紙を使った凧づくり ・凧あげ	12 (6)	生活1 (生命・自然) ・天気や空の様子 ・四季の特徴や天候の移り変わりに気付く ・地域の行事と季節の関係について知る ・天候の変化に気付く 生活2 (生命・自然) ・天候の変化に関心をもつ ・冬は寒いなどの季節の特徴に関心をもつ 生活1 (ものの仕組みと働き) ・風の力によって物が動く様子に関心をもつ 図工1 (表現) ・かくこと、ぬること (色鉛筆、クレヨン、スタンプ、アクリル絵の具) ・はること (のり、セロハンテープ、シール)
	・ビニールを使った凧づくり ・凧あげ	(4) 本時 2/4	
	・べらぼう凧づくり ・凧あげ	(2)	図工2 (表現) ・かくこと、ぬること (色鉛筆、クレヨン、スタンプ、ペン、アクリル絵の具) ・はること (のり、セロハンテープ、シール)
第三次	「みんなであそぼう」 ・凧づくり ・3年生にプレゼント ・凧あげ予想 ・みんなで凧あげ	24 (4)	生活1 (生命・自然) ・天気や空の様子 ・四季の特徴や天候の移り変わりに気付く ・地域の行事と季節の関係について知る ・天候の変化に気付く 生活2 (生命・自然) ・天候の変化に関心をもつ ・冬は寒いなどの季節の特徴に関心をもつ 生活1 (ものの仕組みと働き) ・風の力によって物が動く様子に関心をもつ ・風の力は物を動かすことができることに気付く ・風の大きさを変えると物が動く様子も変わること に気付く 図工1 (表現) ・かくこと、ぬること (色鉛筆、クレヨン、アクリル絵の具)
	・凧づくり ・小学部にプレゼント ・凧あげ予想 ・みんなで凧あげ	(16)	
	・凧づくり ・家族にプレゼント ・凧あげ予想 ・みんなで凧あげ	(4)	図工2 (表現) ・かくこと、ぬること (色鉛筆、クレヨン、ペン、スタンプ、アクリル絵の具) ・切ること (はさみ) ・はること (のり、セロハンテープ、シール)

(4) 単元の評価規準

教科・段階		知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
生活1 (2名)	生命・自然	身近な自然の中で遊びながら自然の事物や事象に触れ、生き物などに興味・関心をもっている。	身の回りにある自然の事物や事象に気付き、教師と一緒に他者に伝えている。	身近な公園や川、野山、海などの自然に触れ、知ろうとしている。
		晴れや雨などの天候の変化や四季のおおまかな特徴などに気付いている。	天候の変化や四季の特徴に気付き、教師と一緒に他者に伝えている。	天気や空の様子に触れ、知ろうとしている。
生活2 (2名)	生命・自然	植物や身近な動物に興味や関心を持ち、実際に栽培や飼育を行い、その成長や変化に気付いている。	植物や動物の成長や変化などを記録し、気付いたことを他者に伝えている。	植物や動物の世話をしながら、成長や変化を知ろうとしている。
		天候の変化や、太陽、月、星などと昼夜の関わりや、気温の違いなどの季節のおおまかな特徴を知っている。	天候の変化や四季の特徴を調べ、気付いたことを教師と一緒に他者に伝えている。	天候の変化や四季の特徴などに関心を持ち、知ろうとしている。
生活1 (4名)	ものの仕組みと働き	風やゴムの力によって物が動く様子に関心をもっている。	風やゴムの力によって物が動くことに気付き、教師と一緒に他者に伝えている。	風やゴムの力で物が動くことについて知ろうとしている。
図工1 (2名)	表現	かく遊びやつくる遊びを通して、身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどしている。	材料などから、表したいことを思い付き、線や絵をかくなどして表現しようとしている。	かく、切る、ぬる、はるなどの活動に自ら取り組んでいる。
図工2 (2名)	表現	絵画や造形遊びを通して、身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりする。	材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを思い付き、表現している。	身近な材料や用具に関心を持ち、自らかいたり、形をつくったりする喜びを感じている。

4 本時の計画 (指導計画 第二次 12時間中の8時)

(1) 本時の目標

生活1段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(A) 風の力によって風があがることに気付き、風あげの場所やあげ方を変化させながら風をあげる。</li> <li>・(B) 風の力によって風があがることに関心を持ち、自分から風をあげようとする。</li> <li>・(C、D) 風の力によって風のあがり方が変わることについて知り、風あげの場所やあげ方を変化させながら風をあげる。</li> </ul>
-------	---

(2) 学習過程

時間 (分)	学習活動	指導上の留意点	
		全体	個別
10:30 (5)	1 はじめの会 ・学習予定を確認する。 ・今日の天気を発表する。(天気、気温、服装、風)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の気温や風の強さを発表する場面を通して、天候への関心を高める。</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">                     めあて                      きょうは たこが あがるかな。たしかめよう。                 </div>			
10:35 (10)	2 凧づくり ・凧に飾り付けをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風の有無を意識できるように、外に設置した吹き流しの動きを係の児童が確認し、選択肢からカードを選んで発表する場面を設定する。</li> <li>・「今日の風で凧はあがるかな」と問い掛ける。また、児童の反応に対して理由を問う。</li> </ul>	
10:45 (2)	3 身支度 ・上着を着る。 ・外履きに履き替える。		
10:47 (16)	4 凧あげ ・中庭へ移動する。 ・自由に凧をあげる。 ・風があがる場所を探す。 ・みんなで凧をあげる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未完成の二種の凧の中から、好きな凧を選ぶ場面を設定する。</li> <li>・自由に飾り付けできるように、扱いやすいシールや折り紙等を準備する。</li> </ul>	
10:47 (16)	4 凧あげ ・中庭へ移動する。 ・自由に凧をあげる。 ・風があがる場所を探す。 ・みんなで凧をあげる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場所によって風の有無や強さが違うことを意識できるように、吹き流しを四か所に設置しておく。また、T2は児童と同様に凧をあげ、凧があがる場所を探す手本を示す。</li> <li>・風がない場面で「どうしたらあがるかな」などと問い掛けたり、他児やT2の様子に注目させたりする。</li> <li>・児童が風の有無や風と凧のあがり方の関係に気付いた際には、そのことを言語化して伝え、価値付ける。</li> </ul>	A: 他児や教師の凧あげの場所や遊び方を伝えて、誘う。 B: 児童の視線に合わせて「風が吹いたら、凧が動いたね」などと言葉掛けする。
11:03 (2)	5 身支度 ・内履きに履き替える。 ・上着を脱ぐ。		
11:05 (10)	6 まとめ ・気付いたことや、予想に対する結果を発表する。 ・次時の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予想したとおり凧があがったか選択肢からカードを選んで貼る場面を設定する。また、その理由を問う。</li> <li>・必要に応じて、始めにT2が発表し、発表の手本を示す。</li> </ul>	B: カードを貼る場面では、児童の凧のあがり方について言語化して伝え、カードを渡す。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">                     まとめ きょうは <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></span>                      (例)・たこがあがったよ。かぜがあったよ。                      ・たこがあがらなかったよ。かぜがなかったよ。                 </div>			